

(別紙5)

整理番号 2019P-081
補助事業名 2019年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 宮城県結核予防会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

今回整備したCT検診車を活用し、肺がんをはじめとする胸部疾患の早期発見・早期治療を目的とした、巡回方式による低線量肺がんCT検診を行う。また、胸部精密検査においても、CT検診車の強みを生かした巡回方式により、高齢者などの車での移動が困難な方々に対し、利便性と受診機会を提供する。併せて、AMEDが行っているCT検診の有効性に関する研究に積極的に協力し、我が国における対策型検診としての胸部低線量CT検診導入の一助となるよう取り組む。

(2) 実施内容

低線量CT撮影装置搭載検診車 (<http://www.jata-miyagi.org/jka.html>)

1	2	3
		
車体左側側面にはリフトが搭載してあり、車椅子の方も乗車できます。また、収納式の屋根も完備されており、雨の日も濡れることなく受診できます。	胸部CT検診車みやぎ15号は、肺がんをはじめとする胸部疾患の早期発見・早期治療のための巡回検診や巡回による精密検査を実施します。	受診者出入口上部のステップ灯がより明るいLEDとなり、より安全で快適な夜間検診を実施します。
4	5	6
		
出入口の両側に補助手すりがあり、階段の使用が困難な高齢者などにも快適で安全な検診を提供できます。	ノイズ処理技術の向上により、被曝線量が大幅に低減される。検出器が4列から16列になったため、撮影時間が短縮され、息止め不良による画像のブレが軽減し質の高い画像が得られる。	CT検診車みやぎ15号納車の様子(令和2年3月26日)新型コロナウイルスの影響により納車式は中止となりました。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

今回整備したCT検診車の撮影装置は、ノイズ処理低減技術の向上と検出器の増加により、放射線被曝線量を軽減させながら、より質の良い画像の取得が可能となった。

また、寝台の動きが早くなったこと、装置が省スペース化され室内が広くなったことで、一人あたりの検診時間も短縮でき、ハード、ソフト両面において、より良い検診環境の提供が可能となる。さらに、巡回方式による精密検査に対応できるため、高齢者などへの利便性と受診機会を提供でき、課題となっている精密検査受診率の向上に繋がると予想される。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

- (1) 公益財団法人宮城県結核予防会 広報誌よぼう 秋号へ掲載します。

(<http://www.jata-miyagi.org/index.html>)

※ 令和2年9月発行予定

- (2) 公益財団法人宮城県結核予防会 事業年報へ掲載します。

※ 令和2年11月発行予定

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 宮城県結核予防会

(コウエキザイダンホウジン ミヤギケンケツカクヨボウカイ)

住所： 〒989-3203

仙台市青葉区中山吉成2丁目3番1号

代表者： 理事長 渡辺 彰 (リジチヨウ ワタナベアキラ)

担当部署： 健診事業課胸部検診係 (ケンシンジギョウカキョウブケンシンカカリ)

担当者名： 係長 佐藤秀一 (カカリチヨウ サトウヒデカズ)

電話番号： 022-719-5164

F A X: 022-719-5166

E - m a i l : dbc@jata-miyagi.org

U R L : <http://www.jata-miyagi.org>